

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援つくし		
○保護者評価実施期間	R8年 1月8 日 ～ R8年 1月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R8年 1月8 日 ～ R8年 1月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活動作の習得。	挨拶（ジェスチャー）をする、食事中、は落ち着いてい座って食べる、衛生面での手洗い等の基本的動作が身につくようにお手本を見せながら取り組んでいます。	ご家族と情報共有しながら、出来たらたくさん褒めてスモールステップに取り組んでいきたい。
2	家族へのサポート体制の充実。	連絡ノートやお迎え時にお話をする事で、ご家庭での様子や利用時の活動報告をする事で情報共有をしています。相談は随時お受けし面談を行っています。また年2回の保護者会を開催し情報交換や保護者同士の交流の場をも受けています。	御家族が職員に話をし易い雰囲気づくりをし相談をお受けしていきたい。
3	多職種連携による支援。	保育士、看護師、介護福祉士、理学療法士の多職種が専門分野の視点から様々な意見を出し合い支援しています。	研修や日々の研鑽でスキルしよりよい支援に繋げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止・緊急時対応・防犯・感染等マニュアルを策定し職員には周知徹底していますがご家族への周知徹底不足があります。	くり返しの伝達が出来ていない事です。	契約やモニタリングに繰り返しお話を周知徹底を図ります。
2	他機関との連携不足。	一部の利用者は、医療・学校・行政と連携していますが全体的に連携不足です。	関係機関に積極的に働きかけ交流する機会を持ちたいです。
3			